

金属の加熱加工に独自の技術力 お客様の用途、作業性を考慮した 「高周波加熱応用装置」

BME

BME（八王子市松木、大野匠社長、電話042・674・0830、FAX042・674・0835）は、創業以来30年にわたり、お客様のニーズに迅速に応えることを第一に、高周波応用技術の豊富な実績と各種サンプルテスト体制を整えている。

同社では、主に高周波誘導加熱装置と加熱コイルの設計、製作および周辺機器の製造、販売を行っている。中でも、同社が製造する高周波加熱装置（高周波発振器）

には定評がある。焼結のほか、焼入れ、焼戻し、焼鈍し、焼嵌め、金属溶解、ロウ付け、半田付け、脱脂、塗装乾燥、食器容器のシール（封し）など各種揃い、食品産業や化学工業分野をはじめ幅広く使用されている。

この高周波発振器を、お客様の用途や作業性を活かすために1KW〜30KWまでシリーズ化し、同社独自の技術によって小型・軽量化を実現した。既存設備への設置が容易になった点や発振器冷却



高周波加熱装置



容器シール装置

仕様などでより利便性を高めている。同社の製品は被加熱物に効率よく投入させる方式を採用して環境に左右されることなく被加熱物自体が発熱し、また、電流の周波数や加熱コイルを正確に選択することで急速な加熱が可能となる。さらに、瞬間・局部・均一加熱、表面のみの加熱にも対応し、金属を使用するすべての産業用加熱に使用できる。同社は、自動車部品の製造ライン用として多数の海外輸出実績を有している。

大野社長は「これからも多様な分野でニーズにお応えできる製品の製造をめざしていく」と熱く語る。

詳しくはホームページで

<http://www.k4.dion.ne.jp/~bme/top.htm>



部の簡素化を図り漏水事故を解消、発振器運転遠隔操作の標準